

国際医療福祉大学成田病院新規指定推薦について（１）

- ・ 同一のがん医療圏内にすでに指定されているがん診療連携拠点病院が存在しているが、がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針では、「当該都道府県におけるがん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制の整備がより一層図られることが明確である場合には、指定の検討会の意見を踏まえ、複数整備することも可能とする。」とされている。

→千葉県としては以下の４つの理由から、千葉県におけるがん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制の整備がより一層図られると思われることから、国に推薦したいと考えるがどうか。

- ・ 当該医療機関に対する推薦意見は以下のとおりである。
 - ①令和４年４月から千葉県がん診療連携協力病院として地域のがん診療の質向上に大きく貢献している。
(指定部位：肺・胃・大腸・肝胆膵・乳・子宮・前立腺)

国際医療福祉大学成田病院新規指定推薦について（２）

- ②がん診療においては、手術や放射線治療、化学療法など全ての治療に対応可能であり、外科領域においてはロボット支援下手術にも力を入れ、２台の稼働で様々な症例に対応している。また、総勢40名以上のPT（理学療法士）、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）を揃えて周術期のがんリハビリテーションを充実させ、セカンドオピニオンも積極的に受け入れている。また、2023年の印旛医療圏の施設におけるがん登録数（1658件／年）ではトップとなっている。

国際医療福祉大学成田病院新規指定推薦について（３）

- ③人口約72万人、面積約700 km²の印旛医療圏の中で北東部に位置し、隣接した拠点病院空白の医療圏である山武長生夷隅等、印旛医療圏以外から約40%のがん患者を受け入れている。さらに、令和8年の圏央道全線開通による圏域外からのアクセス向上により、2次医療圏を超えた地域からのがん医療需要が高くなることが予想され、これらの患者を受け入れていくとしている。
- ④千葉県内では二つ目の医学部附属本院・教育機関として、がん医療を担う専門医や専門コメディカルを県内医療機関へ輩出している。